

研究・調査報告書

報告書番号	担当
514	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)	
Smoking and alcohol consumption in relation to risk of triple-negative breast cancer in a cohort of postmenopausal women. 閉経後女性を対象としたコホートにおける、喫煙、アルコール消費と Triple Negative 乳がんのリスクとの関連	
執筆者	
Kabat GC, Kim M, Phipps AI, Li CI, Messina CR, Wactawski-Wende J, Kuller L, Simon MS, Yasmeen S, Wassertheil-Smoller S, Rohan TE.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Cancer Causes Control (2011) 22:775-783.	
キーワード	
乳癌、トリプルネガティブ、エストロゲン受容体陽性、タバコ喫煙、アルコール消費、閉経後	
要 旨	
目的： ホルモン受容体陽性乳癌に比べ予後不良である triplenegative 乳がん (TNBC) の危険因子についてはほとんど知られていない。我々は喫煙、アルコール摂取と TNBC およびエストロゲン受容体陽性乳がんとの関連を検討した。	
方法： Women's Health Initiative に登録された 148,030 人の女性において、中央値 8.0 年の追跡期間で、300 人の TNBC 症例と 2479 人のエストロゲン受容体陽性乳がんが同定された。Cox 比例ハザードモデルを用いてハザード比 (HR) および 95%信頼区間 (95%CI) が推定された。	
結果： 喫煙は TNBC と関連はない一方で、飲酒者は非飲酒者に比べリスクが低かった。対照的に、両方への曝露とエストロゲン受容体陽性乳がんとはわずかな正の関連を示した。40 パック・年の喫煙女性ではハザード比 1.24、95%信頼区間 1.06-1.50、週 7 杯のアルコール摂取をする女性ではハザード比は 1.26、95%信頼区間 1.06-1.50 であった。ワインやアルコール濃度の高い酒の摂取は ER 関連乳がんとは有意な正の関連を示した。	
結論： 閉経後女性を対象とした大規模コホートの結果から、喫煙とアルコール消費量は TNBC のリスク増加と関連がないが、ER 関連の乳がんのリスク増加には適度に関連していることが示唆された。	